



タミルの風

令和 3年12月6日 発行
チェンナイ補習授業校だより (第11号)

Tel : 0091-44-2254-2912

e-mail : jsetoc@jschennai.org.in

ホームページ : [http:// www.jschoolchennai.com](http://www.jschoolchennai.com)

《 在籍数 》 小学部 10名

中学部 7名

計 17名

確かな学びと国際感覚豊かな子どもの育成

校長 吉本 卓

「師走」には、色々な語源がありますが、本校教員も後期前半のまとめと来年度の準備等の忙しい時期を迎えています。子どもたちも一年を振り返り、一生懸命取り組んできたことや、個人目標の達成状況を振り返る機会が増えることでしょう。『丑年』から『寅年』にバトンタッチする令和4年に良いスタートが切れるよう、ご家庭でもお子様が頑張ったことや成長したことを褒めてあげてください。

令和4年の干支は「壬寅(みずのえ・とら)」で、「陽気を孕み、春の胎動を助く」と言われ、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるということらしいです。新型コロナ禍で厳しい一年でしたが、対面授業の始まりと共に、学校行事も再開できる新年にしたいと願っています。

【書初めについて】

昨年度は実施できなかった『書初め』ですが、一年の抱負を心新たにするために、下記日程で実施いたします。中学部は「松の内」を越えますが、ご理解ください。

1月12日(水)(小4休みの日):小1・小2・小3学年が実施、生活科も指導。

13日(木)(小2休みの日):小4・小5・小6学年が実施

22日(土):中学部全員で実施。 ※詳細は、学級通信でお知らせします。



【離任の挨拶】

《 安達 愛 先生 》

5年9か月の長きにわたり、たくさんの方々にお世話になりました。児童生徒の皆さんと一緒に勉強を進めていく中で、私も楽しく学ばせていただきました。

保護者の皆様からも暖かいお言葉をいただき、励みとなりました。この貴重な経験を今後も生かしてまいります。この広い世界のどこかでまた皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。ありがとうございました。

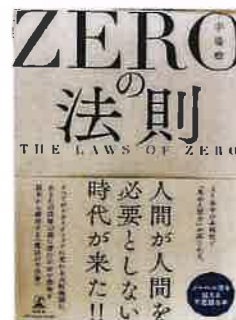
《 向井 小町 先生 》

チェンナイ補習授業校のみなさんと過ごしたかけがえのない日々は一生忘れません。残りわずかですが、一日一日を大切に、皆さんと過ごしていきたいです。本当にありがとうございました。



【図書寄贈】

元保護者の方から、心温まる手紙と一冊の寄贈本が届きました。お手紙から、学校経営で力を入れている『学校図書館の充実』が、最も大切なことを改めて確信しました。メールアドレスが記載されていませんでしたので、お礼の手紙で返信いたしました。本来なら、お名前を紹介させていただきたいところですが、了承を取れていませんので、お名前の掲載は差し控させていただきます。本文を次頁に紹介させていただきますので、ご一読いただければ幸いです。



【12月・1月の主な予定】

12月17日(金):小学部後期前半終了	13日(木):書初め(小4・小5・小6)
18日(土):中学部後期前半終了	14日(金)~16日(日):Pongal 休暇
19日(日)~1月9日(日):冬季休業日	17日(月)~22日(土):懇談会週間
1月10日(月):小学部後期後半開始	22日(土):中学部書初め
12日(水):書初め(小1・小2・小3)	26日(水):Indian Republic(お休み)

チェンナイ補習授業校 様

突然のお手紙を失礼いたします。

私は以前、主人の駐在にて家族で渡航し、補習校に子どもたちが大変お世話になったものです。

言葉やカルチャーの違いに戸惑う中での子育ては楽しいとは言い難いものがありました。補習校には安心して子どもを送り出し、日本のカルチャーに触れられたこと、先生方に置かれましてはとても親身になって下さり本当に救われました。おかげさまで、帰国後、問題もなく子どもたちは学校になじむことができました。そして、何より、いま、貴重な経験をさせていただけたと感謝の気持ちでいられるのは先生はじめ学校関係の皆様のおかげだとお礼申し上げます。

図書館にてお借りできた本は子どもたちにとって日本語に触れることができ、夢いっぱい思いのある場所でした。子どもたちが触れることができた他国での学びは、たくさんのストレスで、支える先生方のご苦労は多大なものだと、経験を持ってお察しいたします。そんな中で心を豊かにできること。人間として、一番大切な、国境を越えて育める心に響く素晴らしい本を見つけました。

ぜひ、自分とは？と向かい合う時期の中高生にお読みいただき広い視野でのすばらしい人生を見出していただけたら幸いと思い、図書館に寄付させていただけたらと送らせていただきました。

今わが子たちは現地での学びを生かして、自分ですべてを決めて、自立ができております。そんなわが子を見て、補習校でのサポートをいただいたからこそと心より感謝しております。

これからの補習校の発展と先生方はじめ生徒の皆様のご活躍を心より応援しております。